

「域学連携」地域づくり人育成支援事業の実施について

1. 事業目的

地域活性化においては、様々な知識・経験を持った人が、その知識・経験とアイデアを活かしながら、それぞれ活動に取り組み、地域で様々な活動が展開されている状況こそが重要である。そのような状況を生み出すために必要となる、地域づくり活動を自らの手で企画し実践できる人材、すなわち「地域づくり人」を育成するために、総務省は昨年度より「地域づくり人育成講座」を開催している。

今後は、各地域が主体となって、地域の大学等と連携しながら同様の講座（域学連携地域づくり人育成講座）を開催することで、地域における地域づくり人育成のモデルを構築し全国に取組を広げることが重要。

そのため、地域が大学等と連携し、一般市民を含めた幅広い層を対象として、それぞれの地域の特色を活かした地域の人づくりに関するセミナー（市民向けの公開講座を地域の大学等で開催）を開催する団体を募集し、100万円を上限として補助する。

■事業目的

- ① 地域における地域づくり人育成のモデルを構築し、全国に取組を広げること。
- ② 事業を通じて、自治体と大学のみならず、まちづくり団体・NPO・企業なども含め地域全体が連携すること。
- ③ 主体的に講座を運営するNPO等の中間支援団体を育成すること。
- ④ 当事業によって得られたノウハウや課題について整理を行うことで、今後の地域の取組をより促進し、日本の地域再生を加速させること。

2. 事業概要

(1) 事業実施主体

自治体・大学・まちづくり団体・NPO・企業等を構成員とする「実行委員会」を組織し、活動の主体とする。

※ 予算の交付先は実行委員会の中心的組織で法人格を有する者（例えば自治体、大学、NPO法人等）。

※ 契約は、総務省から請負う社と実行委員会との契約となる。

(2) 事業実施概要

○ 地域の人づくりに関する市民向けの公開講座を地域の大学が設置。

※ 将来的に地域における人材育成の主体に育てていくことを視野に、講座の運営に関しては地域のNPO等の中間支援組織を活用することも可能。

- 地元講師（大学教授、まちづくり団体・企業経営者、地元で地域づくりに活躍されている人材など）と総務省「人材力活性化研究会」の構成員、総務省職員等がリレー方式で講座を展開。 ※基本テキストとして「人材力活性化プログラム」を使用。
- カリキュラムづくりについては、各地域で設定。例えば、毎週1コマ×10回など。実際に地域に入り、地元住民との意見交換やフィールドワークなども考えられる。
- 講座のカリキュラムとその考え方、実施記録、それを踏まえた今後の地域づくり人材の育成に関する課題、人材育成における自治体・大学・まちづくり団体・NPO・企業等のそれぞれの役割、その地域での今後の展開などについて、実行委員会が報告書を総務省に提出。
- 講座終了後、総務省が3月に開催する報告会において、各地域での取組状況やその効果、さらにはより良いカリキュラムづくりの方策等を発表する。

3. 総務省からの交付対象上限額について

交付対象上限額 1者あたり100万円

- ※ 総務省と契約を行う社からの支払い。
- ※ 予算総額の範囲内で5者を採択予定

4. 実施団体の選定結果について

以下、5団体を採択。

応募団体（代表団体）名	関係団体
(1) つくば地域人材育成実行委員会	① NPO 法人つくば市民活動推進機構 ② 筑波学院大学 ③ つくば市 ④ つくばコミュニティ放送株式会社
(2) 一般社団法人エクスブリッジ	① 名桜大学 ② 北部広域圏組合 ③ 名護市 ④ 二見以北地域振興会
(3) 滋賀県立大学	① 滋賀県、県内市町村 ② 滋賀県立大学 ③ NPO 法人コミュニティ・アーキテクトネットワーク ※ 域学（国費事業）の枠組みを利用
(4) きくち地域づくり人育成塾	① 菊池市 ② 九州看護福祉大学 ③ やねだん菊池支部 ④ きくもん福祉ネットワーク ⑤ 社団法人菊池市社会福祉協議会
(5) 最上町	① 最上町 ② 山形大学 ③ NPO 法人やまなみ 等多数

実施主体	①最上のまちづくり地域リーダー塾実行委員会
構成団体	最上町(事務局) 山形大学 最上町産業振興協議会 最上町区長連絡協議会 最上町公民館長連絡協議会 最上町社会福祉協議会 NPO法人アルカディアもがみ NPO法人やまなみ NPO団体山と川の学校 最上町青少年育成町民会議 最上町社会貢献登録事業所
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> ●地域経営や地域力向上を基本テーマとする学習活動を通じた目指すべき方向の認識を共有 ●地域リーダー育成のパイロット事業 ●実行委員会の組成を通じた担い手層の拡充と、長期の視野に立脚した実践カリキュラムの開発 ●三層によるリーダー塾 <ul style="list-style-type: none"> ◆地域づくり入門セミナー 一般住民を対象とした担い手層の拡充 ◆地域リーダー育成塾 総括リーダー、プロジェクトリーダーの育成 ◆サポーターズ養成講座 行政職員、NPO等関係者の資質向上
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ●地域づくり入門セミナー 一般住民、地縁団体・志縁団体(中間支援団体等)関係者 ●地域リーダー育成塾 統括リーダー、各分野のプロジェクトリーダー ●サポーターズ養成講座 行政職員、NPO等関係者、地域おこし協力隊
募集定員	<ul style="list-style-type: none"> ●地域づくり入門セミナー： 名 ●地域リーダー育成塾： 名 ●サポーターズ養成講座： 名
習得するスキル等	<ul style="list-style-type: none"> ●地域づくり入門セミナー 地元学、コミュニティ論 ●地域リーダー育成塾 地域経営に関する基礎的な知識 ●サポーターズ養成講座 地域リーダーを支えるために必要な知識と技術
講座のスタイル	<ul style="list-style-type: none"> ●地域づくり入門セミナー：3回(日間) ●地域リーダー育成塾：5回(日間) ●サポーターズ養成講座：1回(1泊2日)
講座の構成	<ul style="list-style-type: none"> ●地域づくり入門セミナー <ul style="list-style-type: none"> ◆講義 ◆演習(グループ討議) ◆発表 ●地域リーダー育成塾 <ul style="list-style-type: none"> ◆講義 ◆演習(意見交換) ●サポーターズ養成講座 <ul style="list-style-type: none"> ◆講義 ◆演習(意見交換)
カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> ●地域づくり入門セミナー <ul style="list-style-type: none"> ◆第1回：全住民参加型の地域づくりとは ◆第2回：地元学のすすめ ◆第3回：地域間連携、人的ネットワークづくり ●地域リーダー育成塾 <ul style="list-style-type: none"> ◆第1回：やねだん型地域リーダー論 ◆第2回：実践的地域経営論 ◆第3回：地域資源発掘・活用術 ◆第4回：地域人材発掘・活用術 ◆第5回：コミュニケーション力と情報発信力 ●サポーターズ養成講座 <ul style="list-style-type: none"> ◆地域力向上に向けて果たすべき公務員の役割 ◆地域づくりサポーター最前線
講師	<ul style="list-style-type: none"> ●山形大学研究員 ●郷土史研究家 ●総務省 ●人材研メンバー

実施主体	②つくば地域人材育成実行委員会
構成団体	NPO法人つくば市民活動推進機構(事務局) 筑波学院大学 つくば市 つくばコミュニティ放送株式会社
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> ●受講生:「地域づくり人」としてのノウハウ(プロデューサー、コーディネーター、 баланサーといった役割)、常時各セクター間で連携を維持していることの重要性を考える ●実施者:受講生からのフィードバックを通じて、各自が実践している地域づくりおよび「地域づくり人」としての取り組みをより良いものに還元する ●まち全体:報告書はテキストして増刷し、終了後も活用。各セクター間の連携の拡大と深化。オールつくばによる人材育成推進。
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ●地域活動実践者 ●学生活動の中核者 ●地域づくりコーディネーター希望者
募集定員	20~30名
習得するスキル等	<ul style="list-style-type: none"> ●各セクターの強み・弱みを知り、 ●自治体、大学、企業、NPOをつなぐコーディネーターの必要性、役割、 ●連携の仕方 を学ぶ
講座のスタイル	<ul style="list-style-type: none"> ●二日間(土日) ●全8コマ
講座の構成	<ul style="list-style-type: none"> ●座学(5コマ):1コマ50分 ●現地視察(1コマ):つくば市民活動センター:50分 ●演習(ロールプレイ:1コマ):150分 ●振り返り(1コマ):50分
カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> ●座学:各セクター事例の発表 (事例発表30分、各自のまとめの時間10分、質疑応答10分) <ul style="list-style-type: none"> ◆行政の取組:つくば市 ◆大学の取組:筑波学院大学 ◆NPOの取組:つくば市民活動推進機構 ◆企業の取組:つくばコミュニティ放送 ●現地視察:市民活動センターの視察 ●演習:4事例のまとめ(30分)と、課題解決演習(自治体、企業、大学、中間支援NPOの4つのセクターの立場に分かれたロールプレイ120分) ●振り返り:演習成果発表と富永氏講評
講師	<ul style="list-style-type: none"> ●各事例の代表者、実践者 ●総務省 ●人材研メンバー

実施主体	③近江地域づくり人交座実行委員会
構成団体	滋賀県立大学(代表) NPO法人コミュニティ・アーキテクトネットワーク (略称:NPO法人環人ネット)
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> ●地域づくりの「リーダー」の育成、能力向上、新たな発掘 ●地域づくりのすぐれた「フォロワー」の育成、「地域づくり人」コミュニティの形成 ●地域の「大学活用力」の向上
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ●県内在住、在勤の社会人 ●自治体職員 ●県内大学の学生
募集定員	30名
習得するスキル等	<ul style="list-style-type: none"> ●風土の再生 ●なりわいの再生 ●くらしの再生 に関する知識・ノウハウ
講座のスタイル	<ul style="list-style-type: none"> ●土曜日午後半日の4日間 ●全15コマ(座学1日3コマ×3日+フィールドワーク1日・6コマ)
講座の構成	<ul style="list-style-type: none"> ●座学(9コマ):1コマ90分? ●演習(クラスディスカッション:1コマ):90分 ●現地視察(6コマ):東近江市内:540分
カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> ●座学:2名の講師による対話・討議型講義 (「風土の再生」、「なりわいの再生」、「くらしの再生」の3テーマを設定。それぞれ3コマ。1コマ2名の講師) <ul style="list-style-type: none"> ◆風土の再生:学長、知事、総務省、人材研 ◆なりわいの再生:滋賀県内で実践者 ◆くらしの再生:滋賀県内で実践者 ●演習:自己紹介とクラスディスカッション(初日) ●現地視察:「緑の分権改革の現場を訪ねる-東近江FEC自給圏をめぐる」をテーマに実践者による地域案内
講師	<ul style="list-style-type: none"> ●滋賀県内で実績を上げている各分野のリーダーや実践者 ●コミュニティ・アーキテクト(近江環人)称号保持者 ●国から派遣される講師 ●人材研メンバー ●滋賀県立大学の教員

実施主体	④きくち地域造り人育成塾実行委員会
構成団体	菊池市社会福祉協議会(代表) 菊池市 九州看護大学 きくもん福祉ネットワーク 菊池地域づくり推進会(やねだん菊池支部)
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> ●地域をよくしていきたいというやる気のある人たちの人間力を養い、将来の地域リーダーとして育成すること ●実際に地域おこしに取り組みだした地域を「きくち地域づくり人育成塾」のフィールドワーク、ワークショップに巻き込み、地域おこしの起爆剤とすること ●地域をよくしていきたいという想いはあっても、率先して動くまでの余裕はないという住民向けの広報・啓発 ●今後の菊池市の人づくり事業の基礎とすること
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ●区長 ●民生委員児童委員 ●福祉協力員 ●公民館運営委員 ●地区社協役員 ●一般市民 ●行政職員
募集定員	20名程度
習得するスキル等	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の現状把握 ●企画力 ●計画力 ●事業運営力 ●意見の聞きだしやまとめるスキル
講座のスタイル	<ul style="list-style-type: none"> ●日曜日開催の8回(日間) ●全11コマ(座学1日1～2コマ×5日+演習1日1～2コマ×2日+研修1コマ×1日)
講座の構成	<ul style="list-style-type: none"> ●座学(6コマ):1コマ90分 ●演習(ワークショップ2コマ):1コマ120分 ●現地視察等(2コマ):1コマ150分 ●振り返り(1コマ):120分
カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> ●座学:講師による講義 <ul style="list-style-type: none"> ◆講座①:地域コミュニティと地域力について ◆講座②:公民館活動と地域づくり ◆講座③:地域調査の仕方とワークショップ手法 ◆講座④:実践調査 ◆講座⑤:公開討論 ◆講座⑥:プレゼンテーション力について ●演習 <ul style="list-style-type: none"> ◆演習①:フィールドワーク ◆演習②:地域住民を交えたワークショップ ●現地視察等 <ul style="list-style-type: none"> ◆視察等①:視察研修(やねだん) ◆視察等②:地域フォーラムへの参加 ●振り返り:報告会
講師	<ul style="list-style-type: none"> ●実行委員会構成員 ●実践者

実施主体	⑤やんばる地域づくり人育成講座実行委員会
構成団体	名桜大学 二見以北地域振興会 わんさか大浦パーク 名護市地域づくりコーディネーター 名護市・北部広域圏事務組合 一般社団法人エクスブリッジ(事務局)
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> ●講座の狙い ◆基礎力のアップ、地域づくりの推進力の向上 ◆多様な主体を巻き込みながら主体的に地域づくりの取り組みを生み出せる人材の育成 ■想定される効果 ◆地域づくりの基礎的な考え方・知識を身につけた多様な立場の人材の育成 ◆実践的な課題解決力の修得 ◆主体的に地域課題解決の取り組みをつくり出せるプロデュース人材の増加 ◆大学や中間支援団体における人材育成ノウハウの蓄積と、人材育成の場の創出 ◆人材育成モデルの構築と、他地域へのモデル移転 ◆フィールドワークを通じた受入地域の課題解決の取り組みの促進
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ●行政での政策立案担当者 ●商工会・観光協会等の地域の中間支援組織のスタッフ ●区長や振興会、青年団など地域組織に所属し地域課題に取り組んでいる人 ●民間で地域づくりに取り組んでいる人 ●将来的に地域づくりに携わりたいと考えている人
募集定員	<ul style="list-style-type: none"> ●地域づくり人基礎講座 <ul style="list-style-type: none"> ◆リレー講座100名 ◆現場視察20名 ●地域づくり人実践講座 20名
習得するスキル等	<ul style="list-style-type: none"> ●地域づくり人基礎講座 地域づくりの基礎的な考え方、姿勢、知識 ●地域づくり人実践講座 地域に入ってから地元住民と意見交換、現状と課題の整理、企画提案を通じて、より実践的な地域づくりの力を身につける
講座のスタイル	<ul style="list-style-type: none"> ●地域づくり人基礎講座 <ul style="list-style-type: none"> ◆五回(日間)の座学(平日午後開催)、二回(日間)の現地視察 ◆座学は各回テーマ設定 ●地域づくり人実践講座 <ul style="list-style-type: none"> ◆三回(日間)の演習(平日午後開催)
講座の構成	<ul style="list-style-type: none"> ●地域づくり人基礎講座 <ul style="list-style-type: none"> ◆座学(5回):シンポジウム形式 ◆現地視察(2回) ●地域づくり人実践講座 <ul style="list-style-type: none"> ◆演習(ワークショップ):4人程度のチームで作業 ◆現地視察(フィールドワーク)
カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> ●地域づくり人基礎講座 <ul style="list-style-type: none"> ◆第1回:地域づくり人とは、総務省の施策紹介 ◆第2回:感動を生む自治会による自主事業づくり ◆第3回:地域の強みを活かした商品開発 ◆第4回:六次産業先進地視察 ◆第5回:民泊体験による島の活性化 ◆第6回:10万人の観光客を呼び込んだ自然体験 ◆第7回:ツーリズム先進地視察 ●地域づくり人実践講座 <ul style="list-style-type: none"> ◆第1回:フィールドワーク(現地視察)+ワークショップ(チームでの課題整理、企画書づくり) ◆第2回:ブラッシュアップワークショップ ◆第3回:発表会+振り返り
講師	<ul style="list-style-type: none"> ●県内外で実績を上げている実践者 ●総務省 ●人材研メンバー ●名桜大学の教員